

当社事務所における省エネの推進～オフィス電力使用量の削減～

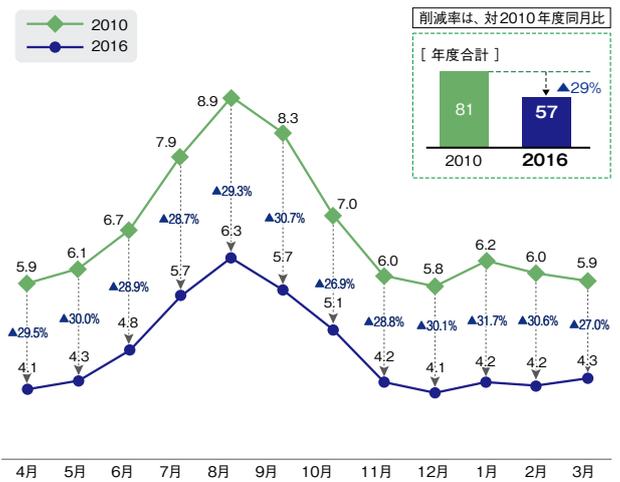
東日本大震災以降の厳しい電力需給等を踏まえ、2011年の夏から継続して、それまでより更に踏み込んだ省エネに九州電力グループ一体となって取り組んできました。

2016年度のオフィス電力使用量は57百万kWhとなり、2010年度比で約29%削減(▲24百万kWh)しました。

2017年度についても、省エネ・省資源活動の観点から、前年度と同様の取組みを実施することとしています。

《 全社オフィス電力使用量削減実績 》

単位：百万kWh



(注) 発電所や研究所など、オフィスのみの電力量が把握できない事業所を除く。

4. 省エネ・省資源活動の展開

社用車におけるCO₂排出抑制やコピー用紙などの省エネ・省資源活動についても取組みを推進しています。

低燃費車の導入やエコドライブによるCO₂排出抑制

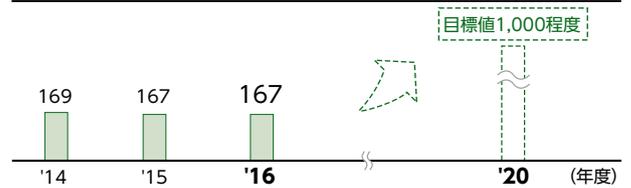
中長期的な地球温暖化対策の観点から、2020年度末までに1,000台程度の電気自動車(プラグインハイブリッド車を含む)の導入を目指しています。

2016年度は、厳しい経営状況を踏まえ、新規導入を見送りましたが、一般車両約2,250台のうち、これまでに累計で167台を導入しています。

また、低燃費車の導入やエコドライブの確実な実施などにより、一般車両の燃料消費率向上にも取り組んでいます。2016年度は、目標(12.0km/ℓ以上)を上回る12.7km/ℓとなりました。

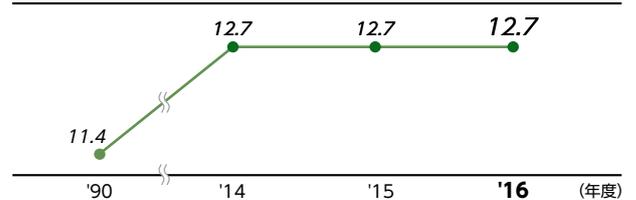
《 電気自動車導入台数(累計) 》

単位：台



《 一般車両燃料消費率 》

単位：km/ℓ



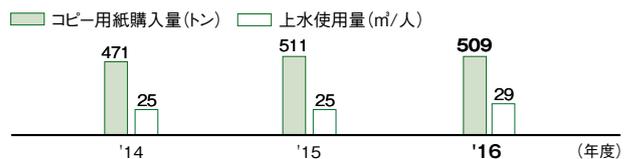
委託輸送に係る省エネへの取組みについては九州電力ホームページ
[詳細は九州電力](#)
[> 関連・詳細情報 \(P2参照\) > 委託輸送に係る省エネへの取組み](#)

コピー用紙購入量・上水使用量の抑制

ペーパーレス化の推進や裏面利用、節水活動の徹底等により、「コピー用紙購入量」と「1人あたりの上水使用量」の抑制に取り組んでいます。

2016年度の「コピー用紙購入量」と「1人あたりの上水使用量」は、ともに目標(470トン以下、24m³/人以下)を達成できなかったことから、2017年度はコピー用紙購入量・上水使用量の抑制に向けた取組みを徹底していきます。

《 コピー用紙購入量・上水使用量の推移 》



用語集をご覧ください

- 地球温暖化
- 電気自動車
- 低燃費車
- プラグインハイブリッド車
- 上水
- エコドライブ

第三者機関による保証を受けた環境データ